

歴史を感じて

三輪⑩山隈マップ

この資料は、「筑前町の歴史」、「夜須の民話と伝説」、インターネット等を引用し作成しています。

ぴら～り



散歩



これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな!

山隈

神社	熊野神社
遺跡	山隈窯(かま)跡
伝承	じょんやま
その他	・山隈原の戦い ・念仏塔
	菊池武光公大刀洗の碑
	国境石

★山隈の由来

隈ということばは、「まがる」という意味があり、この山が頂上から東に延びる中、北へ直角に曲がっているところから、「山隈山となったのでしょうか。山隈という地名もこの山のある所から名付けられたと考えられます。

★じょんやま(山隈)

三輪・夜須・小郡の一市二町にまたがる、姿の美しい山です。天香久山(あまのかぐやま)というのはこの山のことだろうという人もいます。じょん山・しろ山・山隈山・権現山(ごんけんやま)・花立山と五つの名があり、筑前と筑後の境にあり、筑前側では、しろ山・じょん山・山隈山といい、筑後側では、権現山・花立山と言っています。城山またはじょん山というのは、昔この山に城があったからでしょう。記録では戦国末期、秋月氏の山隈城というのが最も古いのですがもっとも古い時代からあったのかも知れません。

花立山というのは、筑後の国府(こくふ=国の役所)が在った久留米御井町(みいまち)あたりから、山岳宗教の霊地とされていた宝満山を拝むときに、この山がちょうど神棚の花立のように見えることから、筑後の人が呼んだ名前です。

権現山とよんだのは、江戸寛永年間この山頂に、英彦山権現を祭ったからです。その権現様のお祭りは旧暦2月15日で、今は3月15日に行われています。筑前も筑後も「じょん山の祭り」といって、参道から境内に店が出て賑わいます。

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ:筑前町社会福祉協議会
(筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館)
TEL:0946-42-4555(担当 時津、石丸)
Eメール:chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

★山隈原の戦い

正平14年(1359)8月7日大保原(小郡市)で武家方の小貳頼尚に勝利した官方の菊池武光は、さらに敗走する敵を追って山隈原まで進出した。この方面で戦っていた小貳方の大友勢も菊池勢の側面からの攻撃に敗れた。

武光はさらに小川を渡り(菊池渡りという)深く追撃しようとした。しかし夜明け前からの激戦で死傷者は小貳方1万8千人、菊池方6千9百人と伝えられるように味方も損害が大きくまた疲れきっていたので、進撃することを止め、軍を山隈原にまとめた。

朝からの戦いで血まみれの刀を山隈原を流れる小川で洗うと、刀は鋸のようにこぼれており、川の水は真っ赤に染まった。

「帰来河水に笑って刀を洗えば、血は奔湍にほとばしって、紅雪をふく・頼山陽」「そのかみの血しおの色とみるまでに、紅葉流るる大刀洗川・乃木希典」古人は、このありさまをこのように詠じている。

この故事によって、本町は大刀洗町と名づけられた。

勇ましい姿のこの銅像はゆかりの菊池渡りの地に昭和12年建立されたものである。

なお、馬腹や台石の弾痕は昭和20年3月の大刀洗飛行場爆撃時の名残。銅像は大刀洗町の「大刀洗公園」にある。



山隈マップ

城山



城山から小郡方面を望む

熊野神社



山隈区公民館

山隈原の戦い

山隈原の戦い
やまくまはら
 南北朝の時代、延元四年（一三三九）七月、南朝
 方の、肥後の菊池肥前守武光が八千の兵を率いて起
 して、太宰府に攻めよつた。それに対して太宰府に
 兵前守頼朝は六万の兵で追討に陣を張つた。七
 月十九日菊池方は山隈原（今山隈山）に陣を張つた。
 小沢陣へ切り掛かり、小沢陣が山隈まで退いた。
 山隈は、沼地で狭小な道があつたため、
 小沢方その道に三方所を切つて菊池方攻め込
 んだ。一進一退のうちに合ひとなつた。
 八月十三日菊池方の夜討ちが始まり、激しい戦
 いのすゝ小沢太宰府の密通へ引こもつた。菊池
 氏も戦いに勝つたけれども、この山隈原で死
 つた。山隈原を海洗する川は、この山隈原で武光
 太刀を洗つたので「太刀洗川」といふ。

平成二十四年五月
 山隈町教育委員会



山隈窯跡

念仏塔

菊池武光公大刀洗の碑

此の石碑は、大宰府に在る。延元四年（一三三九）七月、南朝
 方の、肥後の菊池肥前守武光が八千の兵を率いて起
 して、太宰府に攻めよつた。それに対して太宰府に
 兵前守頼朝は六万の兵で追討に陣を張つた。七
 月十九日菊池方は山隈原（今山隈山）に陣を張つた。
 小沢陣へ切り掛かり、小沢陣が山隈まで退いた。
 山隈は、沼地で狭小な道があつたため、
 小沢方その道に三方所を切つて菊池方攻め込
 んだ。一進一退のうちに合ひとなつた。
 八月十三日菊池方の夜討ちが始まり、激しい戦
 いのすゝ小沢太宰府の密通へ引こもつた。菊池
 氏も戦いに勝つたけれども、この山隈原で死
 つた。山隈原を海洗する川は、この山隈原で武光
 太刀を洗つたので「太刀洗川」といふ。

平成二十四年五月
 山隈町教育委員会



国境石

※場所不明
ご存じの方、社協ま
で連絡をお願いします。

